

「人との繋がり」

平成27年9月23日

ただいま、中央執行委員会の帰りの飛行機の中で、コラムを携帯電話のメモ欄に作成しています。コラムの作成依頼があり、テーマを何にしようかと思い、「人との繋がり」を選びました。

選んだ理由は、今まで人生、様々な人の助けをもらって、今日まで、過ごしてこられたことを、ふと中央執行委員会の帰りに飛行機の中で思ったからです！

このコラムを読んでいる人も、私も、こどもの頃から現在まで、小さな壁や大きな壁が現れた時、家族、友達、職場の仲間、上司や様々な方に相談し、励ましの言葉や助けを受け、壁を乗り越えて来られたのだと思います。

なぜ、今更こんなことをコラムに書いているかというと、私は、高校卒業後、すぐに市役所で働き始めました。仕事はもちろん、社会人として心構えもない自分に対し、親身に接してくれた先輩や仲間のおかげで、社会人として少しずつですが、成長することができました。

また、入庁した初日の4月1日に、先輩から組合ユース部に入るよう言われ、職場外の先輩、仲間と繋がりも人生の中でも大きな転機、財産になりました。今、34年間で感じているのが、一人では何もできないということです。

私は、頭が賢いわけでもなく、何か秀でるものは何もなく、どちらかと言えば他の人より落ちることが多い人間ですが……ただ、人との繋がり、いちばん大事であるという思いは、他の人より少し強い気持ちを持っていると思っています。

今では、縁あって、中央の書記次長までさせていただいております。私の個人的な考えは、今こうして中央の書記次長をさせていただいているのは、周りの方の助けがあつてのことだと思います。

中央にお邪魔することになったのは、単組でいろいろ人の助けがあつて執行委員になり、尊敬する神杉さんの推薦から、中央執行委員になりました。

中央でもいろいろな人との出会いがありました。時には代表者書記長会議で組織拡大のプレゼンをさせられ、時には夜中の3時に博多の鉄なべ餃子を注文し、ビールを目の前にして、食べることなく飲むことなく、マジ説教をしていただいたり、毎回懇親会で組合に対して熱い気持ち、考えを聞いたり……いろいろな経験をさせていただきました。

長くなり分かりにくくなってしまいましたが、とにかく言えることは、人との繋がりを大事にすることは、本を読むこと、勉強することも大事ですが、何よりもいちばん大切だと思っています。

この度、中央執行委員会で「自治労連の産別カラーを出そう」と話し合いをしました。私は、自治労連の産別カラー、自治労連に加入するメリットは、他の産別ではマネができない、「人と繋がり」だと思います。組合員のことを第一に考え、組合員の一人一人に耳を傾け、人間を成長させてくれる産別だと思います。

これからも、中央執行委員会で知り合うことができた仲間やこれから出会う方との繋がりを大事に、日々成長して行きたいです。

この、コラムを読んでいた方、コラムを読む前よりも、皆さんの周りの家族、仲間、恋人、友達、先輩後輩との「人との繋がり」を少しでも大切に思っていたいただければ幸いです。

